

メディア情報

共同通信、東京新聞、中日新聞
京都新聞、神戸新聞、日刊ゲンダイ、
婦人公論、特選小説、KBS ラジオ、
ラジオ大阪などで紹介されました！

好評につき早くも
重版決定

今後の掲載予定

毎日新聞、読売新聞、産経新聞
ほか、雑誌からもオファーきてます

9月7日 出来

著名人の SNS でも
ご紹介いただいています

京都に女王と呼ばれた 作家がいた 山村美紗とふたりの男

著者：**花房観音**

判型：四六判上製 228P / 本体価格：1,500円+税
ISBN:978-4-908443-52-7



第二次世界大戦で心身ともに病み、
高度成長とともにベストセラー作家としての地位を積み上げ、
1996年、日本で一番本が売れていた年に執筆中に
亡くなった山村美紗の生涯は、日本の歩み、
出版業界の歩みともリンクします。

美紗さんのパートナーは長らく西村京太郎さんだと思われていました。
しかし、葬儀に喪主として突然現れた、夫。
嫉妬心からかれながら、美紗さんを支え続けた二人の存在が、
毎月発売される新刊の執筆を支えていました。

花房観音 について

兵庫県豊岡生まれ。2010年に『花祭り』で団鬼六賞大賞を受賞し作家デビュー。著書に『寂花の乗』『花祭り』『萌えいづる』『女坂』『楽園』『好色入道』『偽りの森』『花びらめくり』『うかれ女島』『どうしてあんな女に私が』『紫の女』など多数。

京都に住み、京都を描き続けたミステリーの女王・山村美紗の生涯を、
京都に住み、京都の女を描き続ける花房観音が描きます。

FAX での
ご注文
(受注センター)

FAX : **06-6310-7057**
(TEL : 06-6338-3078)

大阪府吹田市南金田 1-11-11-202
HP : www.jimotonohon.com/
●発行/西日本出版社

書店名(番線)	補充注文	京都に女王と呼ばれた 作家がいた ~山村美紗とふたりの男~	注文数(注文品)	ご担当
				様
				日付
		■著者：花房観音 ■判型：四六判上製 228P ■本体価格：1,500円+税 ■ISBN 978-4-908443-52-7	冊	
大阪府吹田市南金田 1-11-11-202 TEL:06-6338-3078 FAX:06-6310-7057 ■発売/西日本出版社				